

エチオピア月報(2017 年 2 月)

主な出来事

【内政】

- 2 月下旬、エチオピア政府は、グランドルネサンスダムを攻撃しようとしたベニシャングル人民解放戦線の企てを防止した旨発表。

【外政】

- 22 日：ハイレマリアム首相、インホフ米上院議員一行と投資・貿易関係強化につき協議。
- 23－25 日：キール南スーダン大統領がエチオピアを公式訪問。
- 28 日：サーリーフ・リベリア大統領がエチオピアを公式訪問。

【経済】

- エチオピア投資委員会(EIC)によると、今年上半期に 145 億ブルの外国投資プロジェクトが誘致され、目標の 114 億ブルを 30%上回った。
- 24 日、日本とエチオピアは、エチオピアの女性起業家支援のため、約 5 千万米ドルの円借款に調印。

【内政】

- 14 日、ソマリ州ジジガにて第 5 回軍隊記念日式典が開催された。(15 日、The Ethiopian Herald、外務省プレスリリース)
- 18 日、ティグライ州メケレにて第 42 回ティグライ人民解放戦線(TPLF)が開催された。(19 日、The Ethiopian Herald、ENA)
- 2 月下旬、エチオピア政府は、グランドルネサンスダムを攻撃しようとしたベニシャングル人民解放戦線の企てを防止した旨発表した。エチオピア側は、同グループがエリトリアの支援を受けていたと主張している。(3 月 1 日、AP、FBC)

【外政】

- 10 日、ハイレマリアム首相は、ソマリランド代表団の表敬を受けた。(10 日、EBC)
- 13 日、パチエコ・モザンビーク農業相一行がエチオピアを公式訪問し、農業・畜産・漁業における協力を強化する旨の交換公文に署名した。(14 日、外務省プレスリリース)
- 14 日、ヒルト外務国务大臣は、Enestrom スウェーデン外務省政務局長の表敬を受けた。(14 日、外務省プレスリリース)
- 15 日、ヒルト外務国务大臣は、DeCardy デビッド&ルシル・パッカード財団副代表の表敬を受けた。(15 日、外務省プレスリリース)
- 17 日、アクリル外務国务大臣は、Globeleq 社代表団の表敬を受けた。(17 日、外務省プレスリリース)

- 22 日、ハイレマリアム首相は、インホフ米上院議員一行の表敬を受け、二国間の投資・貿易関係強化につき協議した。(23 日、The Ethiopian Herald、EBC)
- 23－25 日、キール南スーダン大統領はエチオピアを公式訪問し、様々な分野における協力のための交換公文に署名した。(24 日、The Ethiopian Herald、外務省プレスリリース)
- 24 日、ウォックナー外相は、アルジェリアの大企業 Cevital Group の Rebrab 代表の表敬を受けた。(24 日、外務省プレスリリース、EBC)
- 28 日、サーリーフ・リベリア大統領がエチオピアを公式訪問した。(28 日、EBC、The Ethiopian Herald)

【経済】

1. 経済全般・財政・金融

- (日時不明) エチオピア投資委員会(EIC)によると、今年上半期に 145 億ブルの外国投資プロジェクトが誘致され、目標の 114 億ブルを 30%上回った。(21 日、The Ethiopian Herald)

2. 貿易・投資・ビジネス

- (日時不明) 国家砂糖公社によると、政府により建設が進められていた Omo Kuraz II 砂糖工場は、1 ヶ月後に試験生産を開始する見通しである。(9 日、The Daily Monitor)
- (日時不明) エチオピア投資委員会によると、中国大手企業 10 社がエチオピアへの投資を決定した。そのうち半数は繊維・衣類製造業の許可を受けている。(15 日、The Ethiopian Herald)
- (日時不明) フランスのホテルブランド Accor Hotels Group は、エチオピアに 3 つのホテルを建設するため、現地投資家と契約を結んだ。これにより、同グループが当国で運営するホテルは 5 つになる。(18 日、The Reporter)
- (日時不明) カタールの大手企業である Ezdan Holding Group は、不動産ベンチャーによる大規模投資計画のためにアフリカ連合(AU)周辺の土地を探しており、アディスアベバ市に約 15 ヘクタールの土地の使用許可を求めている。(19 日、Capital)
- (日時不明) エチオピア政府は、オロミア州における 10 年間の小規模鉱山採掘権をインド系企業の MSP スチールアンドパワー社が取得したと発表した。同社は 10.2429 平方キロメートルの土地で 150 万キロのマグネタイトとイルメナイトを採掘する見通しである。(21 日、The Daily Monitor)
- (日時不明) ハイレマリアム首相は、ティグレ州西部の町 Humera にある Baeker Integrated Agro-Industrial Park の着工に踏み切った。同工業団地は総工費 25 億ブルを掛け、3 年後に完成する見通しである。(22 日、The Ethiopian Herald)

3. エネルギー

- (日時不明) 英国企業の Contingent と Globeleque Consortium は、Genale Dawa VI 水力発電

プロジェクトの建設のため、約 8 億 5 千万米ドルを英国政府から資金調達する。同プロジェクトでは 250MW 発電機が設置される予定である。(7 日、The Ethiopian Herald、The Daily Monitor)

- (日時不明) 連邦議会は、電力供給能力向上のため、約 1 億 460 万米ドルの融資を承認し、アフリカ開発銀行(AfDB)からの融資を締結した。(9 日、The Daily Monitor)
- (日時不明) 水資源開発基金(WRDF)は、世界銀行グループとの間で、排水処理の開発を目指すプロジェクトに対して 4 億 5 千万米ドルの融資を締結した。(18 日、The Reporter)

4. 工業・運輸

- 1 月 31 日、JICA の技術協力案件である道路維持管理能力開発プロジェクトにおいて、日本から最新型路面検査車両が輸入され、アディスアベバ市道路公社(AACRA)に引き渡された。(4 日、The Ethiopian Herald)
- (日時不明) エチオピア航空は、同社の事業拡大計画の遂行のため、アフリカ開発銀行(AfDB)から 1 億 5,900 万米ドルの融資を締結した。(15 日、The Ethiopian Herald)
- (日時不明) エチオピア鉄道公社(ERC)は、連邦議会において鉄道線をドライポート等の他のインフラ施設と接続するために少なくとも 2 ヶ月を要すると述べ、アディスアベバ・ジブチ鉄道が来月に営業開始できないことを明らかにした。(19 日、Fortune)
- 14 日、アディスアベバ市道路公社(AACRA)と中国交通建設集団(CCCC)は、カリティ・トゥルディムツ間及びカリティ・キリント間(合計 20.6km)における道路建設工事の着工式を開催した。同工事区間には橋梁、地下道の建設も含まれ、総工費は 47 億ブルを要する。(19 日、Fortune)

5. その他

- 2 日、第 18 回産業政策対話が JICA とエチオピア開発研究所(EDRI)の共催で開催された。2016 年までに第2フェーズが完了し、今回から日本による GTP II 産業セクターへの支援や収入均等化、青少年雇用創出等の社会的課題に取り組む第3フェーズが始まる。(5 日、The Ethiopian Herald)
- (日時不明) 政府広報局のネゲリ・レンチョ局長は、干ばつの影響を受ける 560 万人に緊急食糧援助及び食料以外の支援を行うため、9 億 4,800 万米ドルが必要であると当地メディアに語った。(5 日、The Ethiopian Herald)
- 24 日、日本とエチオピアは、エチオピアの女性起業家支援のため、約 5 千万米ドルの円借款に調印する。今回の円借款合意は、1974 年にアディスアベバにアディスアベバ国際空港ターミナル拡張のための円借款以来となる。(24 日、The Daily Monitor)
- 24 日、エチオピアの日本大使館は、アワシ・セバット・キロの町に青少年訓練センターを開設した。当プロジェクトは雇用を創出し、教育に取り組むことで、私が町とその周辺の青少年に利益をもたらすために、日本政府から 94,009 ドルの資金提供を受けて進められている。(25

日、The Ethiopian Herald)

6. 各国動向

- 9日、第1回エチオピア・モロッコ経済政策対話が実施された。(10日、外務省プレスリリース)
- (日時不明) エチオピアとイタリアは、当国における保健医療分野のインフラ整備のため、5百万ユーロを供与するソフトローン契約を締結した。同プロジェクトは、アムハラ州、南部諸民族州、アディスアベバ市で2年間かけて実施される。(21日、The Ethiopian Herald)